2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	リハビリテーション医学Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60　(2)　時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期	教室名	2校舎502教室
担 当 教 員	山下　浩平	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

機能回復訓練等の理論について学び、リハビリテーションの基礎を構築する。

《成績評価の方法と基準》

1. 期末テスト:100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

リハビリテーション医学　第4版配布資料

《授業外における学習方法》

教科書の熟読と、解剖学の復習

《履修に当たっての留意点》

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	基本的なリハビリテーションの考え方について理解する	リハビリテーション医学　第4版	教科書の熟読と、解剖学の復習
		各コマにおける授業予定	リハビリテーションと障害　基本理念　障害と生活　分野		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	基本的なリハビリテーションの考え方について理解する	リハビリテーション医学　第4版	教科書の熟読と、解剖学の復習
		各コマにおける授業予定	リハビリテーションと障害　基本理念　障害と生活　分野		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	リハ医学とは何か、それに関わるスタッフなどを理解する	リハビリテーション医学　第4版	教科書の熟読と、解剖学の復習
		各コマにおける授業予定	リハ医学の概念　チームアプローチ　リハの進め方　地域ケア高齢社会		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	リハ医学とは何か、それに関わるスタッフなどを理解する	リハビリテーション医学　第4版	教科書の熟読と、解剖学の復習
		各コマにおける授業予定	リハ医学の概念　チームアプローチ　リハの進め方　地域ケア高齢社会		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	評価の導入を理解する	リハビリテーション医学　第4版	教科書の熟読と、解剖学の復習
		各コマにおける授業予定	障害評価　心身構造　活動　参加		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	評価の導入を理解する	リハビリテーション医学　第4版	教科書の熟読と、解剖学の復習
		各コマにおける授業予定	障害評価　心身構造　活動　参加		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	合併症について理解する	リハビリテーション医学　第4版	教科書の熟読と、解剖学の復習
		各コマにおける授業予定	障害評価　合併症　運動麻痺		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	合併症について理解する	リハビリテーション医学　第4版	教科書の熟読と、解剖学の復習
		各コマにおける授業予定	障害評価　合併症　運動麻痺		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	高次脳機能障害について理解する	リハビリテーション医学　第4版	教科書の熟読と、解剖学の復習
		各コマにおける授業予定	障害評価　運動発達テスト　失行失認		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	高次脳機能障害について理解する	リハビリテーション医学　第4版	教科書の熟読と、解剖学の復習
		各コマにおける授業予定	障害評価　運動発達テスト　失行失認		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神面の評価を中心に理解する	リハビリテーション医学　第4版	教科書の熟読と、解剖学の復習
		各コマにおける授業予定	障害評価　心理的評価		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神面の評価を中心に理解する	リハビリテーション医学　第4版	教科書の熟読と、解剖学の復習
		各コマにおける授業予定	障害評価　心理的評価		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	摂食・嚥下障害の評価を中心に理解する	リハビリテーション医学　第4版	教科書の熟読と、解剖学の復習
		各コマにおける授業予定	障害評価　摂食・嚥下障害		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	摂食・嚥下障害の評価を中心に理解する	リハビリテーション医学　第4版	教科書の熟読と、解剖学の復習
		各コマにおける授業予定	障害評価　摂食・嚥下障害		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	基本的な運動療法を理解する	リハビリテーション医学　第4版	教科書の熟読と、解剖学の復習
		各コマにおける授業予定	理学療法		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	リハビリテーション医学Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60　(2)　時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期	教室名	2校舎502教室
担 当 教 員	山下　浩平	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

機能回復訓練等の理論について学び、リハビリテーションの基礎を構築する。

《成績評価の方法と基準》

1. 期末テスト:100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

リハビリテーション医学　第4版配布資料

《授業外における学習方法》

教科書の熟読と、解剖学の復習

《履修に当たっての留意点》

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	基本的な運動療法を理解する	リハビリテーション医学　第4版	教科書の熟読と、解剖学の復習
		各コマにおける授業予定	理学療法		
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	応用的な運動療法を理解する	リハビリテーション医学　第4版	教科書の熟読と、解剖学の復習
		各コマにおける授業予定	理学療法		
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	応用的な運動療法を理解する	リハビリテーション医学　第4版	教科書の熟読と、解剖学の復習
		各コマにおける授業予定	理学療法		
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	作業療法の種類を理解する	リハビリテーション医学　第4版	教科書の熟読と、解剖学の復習
		各コマにおける授業予定	作業療法		
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	作業療法の種類を理解する	リハビリテーション医学　第4版	教科書の熟読と、解剖学の復習
		各コマにおける授業予定	作業療法		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	失語症の分類と評価治療について、補装具療法について学び理解する	リハビリテーション医学　第4版	教科書の熟読と、解剖学の復習
		各コマにおける授業予定	言語聴覚療法　補装具療法		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	失語症の分類と評価治療について、補装具療法について学び理解する	リハビリテーション医学　第4版	教科書の熟読と、解剖学の復習
		各コマにおける授業予定	言語聴覚療法　補装具療法		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	リハと看護の関係性について学び理解する	リハビリテーション医学　第4版	教科書の熟読と、解剖学の復習
		各コマにおける授業予定	リハ看護　ソーシャルワーク　リハ工学		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	リハと看護の関係性について学び理解する	リハビリテーション医学　第4版	教科書の熟読と、解剖学の復習
		各コマにおける授業予定	リハ看護　ソーシャルワーク　リハ工学		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	各関節の運動と歩行について学び理解する	リハビリテーション医学　第4版	教科書の熟読と、解剖学の復習
		各コマにおける授業予定	運動学　歩行		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	各関節の運動と歩行について学び理解する	リハビリテーション医学　第4版	教科書の熟読と、解剖学の復習
		各コマにおける授業予定	運動学　歩行		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	各関節の運動と歩行について学び理解する	リハビリテーション医学　第4版	教科書の熟読と、解剖学の復習
		各コマにおける授業予定	運動学　歩行		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	各関節の運動と歩行について学び理解する	リハビリテーション医学　第4版	教科書の熟読と、解剖学の復習
		各コマにおける授業予定	運動学　歩行		
第29回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	リハビリテーションの概要全般が理解できる	リハビリテーション医学　第4版	教科書の熟読と、解剖学の復習
		各コマにおける授業予定	理学療法　作業療法　運動学		
第30回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	理学療法の各論、歩行が理解できる	リハビリテーション医学　第4版	教科書の熟読と、解剖学の復習
		各コマにおける授業予定	理学療法　作業療法　運動学		